

令和6年度
まちづくり懇談会



農林課・商工観光課

わたしらのふるさと自慢！

「お米番付2024」
最優秀賞を受賞

全日本お米グランプリ
in北広島町を実施
町内産米も多数受賞

お米を約21種類も生産
栽培面積は広島県で第5位の広さ

スマート農業推進！

町全体での活用を視野に、モデル地区の田んぼで
水位センサーなどITを活用



高品質なお米と、きれいなお水で
日本酒も生産！
どぶろく特区にも選定



「ふりかけ」の大手メーカー
三島食品の創業者の出身地

稲作の平穏と豊作を願う
壬生の花田植は
ユネスコ無形文化遺産



秋の実りに感謝する
町内で活動する神楽の団体数は日本で最多

田植え行事
新庄のはやし田は
重要無形民俗文化財

平安時代に厳島神社の荘園があった歴史から
八重管弦祭が誕生

全国の米どころに負けない良質米が生産される北広島町の強みを活かしたまちづくり 取組の3本柱

生産基盤の 強化



- 再は場整備の推進
- スマート農業の推進
- 経営規模の拡大支援
- 新規就農者・担い手の育成

米のブラン ディング 情報発信



- 全日本お米グランプリin北広島町の開催
- 米どころ北広島町発信プロジェクトの推進
- 米の観光資源化「北広島町おこめの“わわわ”プロジェクト」の推進

農業者の 収益拡大



- 新たな商品開発
- 新たな販路開拓
- 付加価値の創出
- 良質米生産技術の向上

第2次北広島町
長期総合計画に
掲げる

住みたい、
住んで良かった、
住み続けたい
まちの実現



【生産基盤の強化】

～再ほ場整備事業～



■ 再ほ場整備事業について

事業実施前



経営規模を拡大
したい……

後継ぎもいないので
土地を貸したい……

出典：農林水産省中国四国農政局ホームページ

■ 再ほ場整備事業について

事業実施後

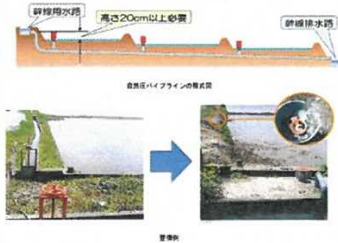


出典：農林水産省中国四国農政局ホームページ

スマート農業に対応した基盤整備の参考事例

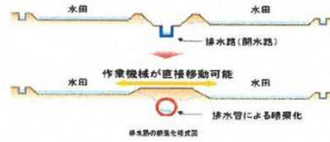
③ 自然圧パイプライン

自然落差での送排水



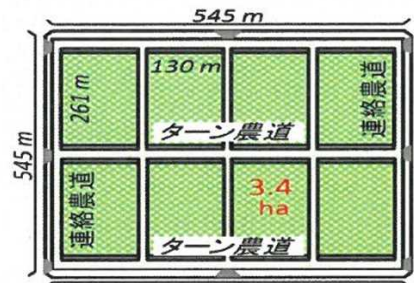
② 排水路の暗渠化

水路の掘りさらいが不要
草刈りなどが省力化
機械の直接移動が可能



① ほ場の大区画化

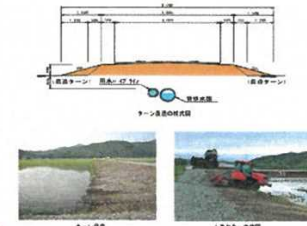
～ 農作業の時間削減 ～
～ 大型農業機械の導入 ～
～ スマート農業技術の導入 ～



水路の暗渠化やターン農道と併せて整備した大区画の模式図

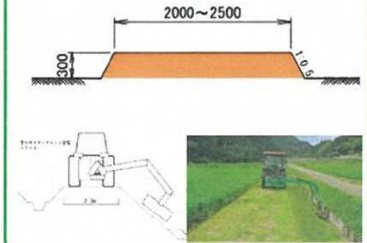
⑤ ターン農道

ほ場の外で旋回が可能
安全な進入・退出が可能
パイプラインの設置



⑥ 幅広畦畔

畦畔を農道として使用
機械除草など省力化



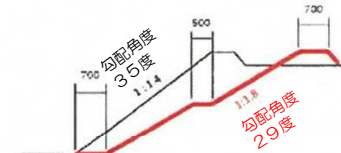
④ ICTを活用した水田の水管理

スマートフォンやパソコンの遠隔操作



⑦ 緩傾斜法面

ラジコン草刈機の導入
除草の安全性向上



作業性を考慮した畦畔のイメージ



ラジコンや重機による草刈り

町民のみんなでディスカッション おむすび会議

2024年1月13日午前

第1回 中高生編

中高生6人が参加。金賞米でおむすびを作って食べながら、「米どころ北広島町」を発信するアイデアを発表。



おむすび片手に、
楽しいワークショップ

2024年1月13日午後

第2回 子育て世代編

「お米大好き」な子育て世代の15人が参加。金賞米のおむすびを片手に、意見を出し合いました。



2024年3月7日

第3回 お米の生産者編

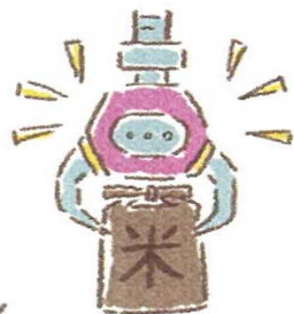
町内のお米の生産者さんが集まり、よりおいしいお米づくりや、売上拡大について話し合いました。



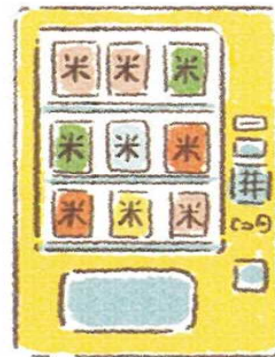
おむすびを食べながら、「米どころ北広島町」の発信方法について検討しました



ワンダフルな
アイデアが
集まりました



クレーンゲームの
景品に米袋



自動販売機で
お米を販売



米俵持ち上げカ比べ大会

おむすび
スイーツの開発



動画や
オリジナルソングで
PR

その他

- ◎町内産リンゴの「ぶちうまドレドレ」で「焼きおむすび」レシピを開発
- ◎町内産米を提供するお店でスタンプラリー
- ◎マスコットキャラクターを作成
- ◎ランドセルカバーでPR
- ◎おにぎり型の街灯を公園に など



アイデアを実現する！

「お米のガチャ」「ぶちうまドレドレを使用した新メニュー開発」に挑戦中

「目的観光地としての食（白米）魅力発信事業」

～目的観光地としての食（白米）を活用した観光コンテンツの魅力発信事業の概要～



1.観光コンテンツの開発

北広島産のお米に関連する町の産品や観光資源の事業者を伴走、魅力的な産品・コンテンツの開発・磨き上げを行い、町へ誘客するプロモーションを展開。



知名度（認知度）を向上させ、
交流人口を増加。



これまであまりお金を使わなかった来町者がお土産購入。
新たな産品、コンテンツを体験。



来町者1人あたりの購入単価を上げる。



現在 14 事業者 18 品目を伴走支援中



どぶろく鍋



香茸むすび三し米



電動自転車ツアー



サーモン丼



どぶろく照り焼きバーガー



米粉パン



ジビエ(猪・鹿)
肉みそ



米粉シチュー

2.魅力発信・プロモーション

事業者・関係者による「TEAMわわわ」を結成。
「北広島町 おこめの“わわわ”PROJECT」として
プロモーションを展開。



スケジュール

- 10月：専用HP・SNSで情報発信開始。
- 11月：飲食店・道の駅等販売開始。
- 12月1日：お米グランプリで
メディア向お披露目会開催。
ふるさと納税返礼品対応。
全国リリース・WEBキャンペーン実施。



メディア向お披露目会

お米グランプリに併せて開催（12月1日）

関係者フォトセッション



イメージ)

北広島市 おこめのわわわプロジェクト
開発産品お披露目会



メディア試食会



参考) 「おいしい広島」メディアお披露目会

みんなでつくろう！米どころ北広島町

米どころ北広島町を、「だれか」ではなく、「みんな」で作り上げていきましょう！

2027年までの目標

米どころ北広島町として多くの人に認知されている

そのために、みんなで行うこと：

- ・北広島町産のお米をたくさん食べよう！
- ・米どころ北広島町発信プロジェクトのイベントに積極的に参加しよう！
- ・米どころ北広島町のよいところをたくさん見つけて、発信しよう！

例えば…SNSで発信！／ステッカーでPR！

2030年までの目標

お米をキーワードに、住みたい！ 住んで良かった！
住み続けたい！ 理想の暮らしを実現！

そのために、みんなで行うこと：

- ・良質米の生産にみんなでとりくもう！
- ・イベントへ参加するだけでなく、イベントの企画をしてみよう！
- ・米どころ北広島町をもっと良くする方法を考え、自ら行動してみよう！